

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
		(共 通 事 項)	
1		(共通) 計画地までの入場ゲート位置は、南部貨物ゲート(正門、裏門)と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
2	A-43	(共通) 入場ゲートから計画地までは大型車両(トレーラー含む)は通行可能と考え、搬入路(砂利道)の敷鉄板等養生は不要と考えて宜しいでしょうか。また否の場合、追加工事費用が発生すると考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
3		(共通) 工事作業車が入退場する際、講習者による先導車両の誘導は不要と考えて宜しいでしょうか。また必要ある場合、先導車両1台当たりに対する誘導台数に制限はないと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	先導車両の誘導は不要と考えて宜しいです。
4		(共通) 本案件は、空港制限区域外の工事と考えて宜しいでしょうか。否の場合、下記質疑に関してご教示ください。	宜しいです。
5		(共通) 工事関係者に対して、入管セキュリティ時の確認項目があれば御指示ください。 (金属探知機チェック、持込工具リストと数量の照合確認、液体物・残置物の照合確認等)	特にございません。
6		(共通) 入管セキュリティ時の確認作業がある場合、工事作業時間外に行うものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	同上
7		(共通) 計画地の埋設物の有無が不明です。埋設物調査、埋設物が存置されていた場合の対策費及び工期延伸に伴う費用は別途と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。 協議の上、必要と判断された場合、設計変更の対象とします。
8		(共通) 大型工事車両(杭打機、杭、鉄骨等)は、工事作業時間外に搬出入可能と考えて宜しいでしょうか。また入退場に時間の制約があれば、御指示ください。	宜しいです。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
9		(共通) 総合仮設計画図において、工事範囲内に仮設事務所が設置されていますが、横堀建設センターは使用せず、工事範囲内の仮設事務所に常駐してよいと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
10		(共通) 構内既存施設の利用にて工事用水が利用できないとの記載ですが、近隣の分岐可能な給排水地点を御指示ください。 排水地点に関しては雨水排水管なのか汚水排水管なのか併せて御指示ください。	現場説明書記載のとおり、本工事では貸与しないこととしております。 契約締結後、接続場所等については、空港管理者の成田国際空港株式会社との調整となります。
11		(共通) 構内既存施設の利用にて工事用電力が利用できないとの記載ですが、敷地外の架線から分岐しても宜しいでしょうか。	同上
12	A-43～48	(A-43～48) 総合仮設計画図(参考図)や数量についてはあくまで参考仮設であり指定仮設ではないものとして、着工後に施工者の計画により参考仮設と数量の差異が発生した場合でも清算の対象にならないと考えて宜しいでしょうか。 否の場合、指定仮設として見積もりますが、着工後に指定仮設では施工精度や工期への悪影響等不備が見られる場合は施主、監理者と協議の上、変更にかかるコストや工期も含め清算頂けるものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
13		(共通) 作業不可の特定日があれば御指示ください。	特にございません。
14	現場説明書	(現場説明書) 工程関係(38)②に令和7年1月着工の追加工事がございますが、本工事の工期(令和7年2月14日 工事完了)と重複します。 追加予定工事は随意契約となると考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	競争入札で発注予定です。
15	現場説明書	(現場説明書) 上記が否の場合、別途工事業者が本工事敷地内で作業を開始するのは本工事完了後と考えて宜しいでしょうか。 また、他社との施工計画調整による追加費用は別途協議願います。	工事中、別途工事業者が作業を行うことがあるため、施工計画調整が必要となります。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
16		(共通) 夜間工事はないと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
17	工事請負契約書	(共通) 契約書案にある工期で至の日付が完成日を指す場合に、完成日から引渡し日までの期間についての火災保険は発注者が負担するとの理解で宜しいでしょうか。受注者が負担する場合、完成日から引渡し日までの期間を御指示ください。(契約書案32条で発注者は14日以内に検査を完了しとありますが、日時が確定できません)	現場説明書別添1「火災保険等の取扱いについて」第3に記載の通り、保険の終期は工期に14日追加した日としてください。
18		(共通) 図面に図示された内容と現況に相違がある事が現認された場合は、工程、工事金額、工法等について協議の上変更できるとの理解で宜しいでしょうか。	契約書第18条に基づき、図面と工事現場が一致しないことが確認された場合は、発注者に通知し、確認を行った上で必要があると認められた時には設計変更を行うことになります。
19		(共通) 図面に図示された内容と現況に相違がある事が現認された場合にその対策や別工法の図面の作成や計算等は工事監理者が行うとの理解で宜しいでしょうか。	設計図書の変更については発注者が行います。
20	工事請負契約書	(共通) 第26条の賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更を請求した場合は、適用単価の採用された刊行物資料等の月を基準とするとの理解で宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
21	工事請負契約書	(共通) 別途工事及び受注者の責に依らない社会的な要因に起因して、工期が遅延した場合は、建設費及び工程等について協議の上、工事費の増額・工期延伸等が出来るとの理解で宜しいでしょうか。御指示ください。	別途工事及び受注者の責に依らない社会的な要因に起因して、工期が遅延した場合は、契約書第22条によります。
22		(共通) 週休2日促進工事であることを理解した上で、工事状況に応じて、土日・祝日作業や夜間工事を行う場合、別途協議いただけるものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	実施要領「営繕工事における週休2日促進工事の実施について(改定)」7.③に記載の通り、工事一時中止を行う場合など対象外とする期間を変更する必要が生じた場合は、その都度、監督職員は受注者と協議することとします。
		(構 造)	

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
23	S-01 S-02	(S-01.02) 捨コンクリート・防水押えコンクリート等の無筋コンクリートのスラブは、15cmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
24	S-01 S-02	(S-01.02) 特記仕様書構造関係(その1) 5鉄筋工事 鉄筋の種類等の785n級せん断補強筋はKSS785と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
25	S-15 A-24	(S-15.A-24) 1階伏図 外周のCS1・CS4のスラブ厚は、矩計図-2より以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □スラブ厚 t=150～120	スラブ厚はS-15を正として下さい。(t=150mm)
26	S-16 A-24	(S-16.A-24) 1階・2階柱壁2階・3階床梁伏図(見上げ図) CS1のスラブ厚は、矩計図-2より以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □スラブ厚 t=200	スラブ厚はS-16を正として下さい。(t=150mm)
27	S-16	(S-16) 1階～3階柱壁2階～R階床梁伏図(見上げ図) 内部スラブ(S9・S10)は、鉄骨小梁設置の為フラットデッキ(t=1.0、許容スパン外の部分はt=1.2;Z12)を使用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。 設計上の荷重としては問題ありません。
28	S-16	(S-16) 上記の場合、デッキ乗掛け代として乗掛け側の梁側面を10mm増打ちすると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。 設計上の荷重としては問題ありません。
29	S-16 A-23 A-24	(S-16.A-23.24) 3階柱壁R階床梁伏図(見上げ図) スラブ勾配レベルが矩計図と相違しています。3階柱壁R階床梁伏図の大梁天端レベルRFL-50・水下横引きドレイン納まりより以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □水下RFL±0～水上RFL+150	S-16の見上げ図(RFL+120、RFL+50)については水上・水下を記載しているものではないです。 なお、スラブ勾配レベルについては□水下RFL±0～水上RFL+150で問題ありません。
30	S-20	(S-20) 基礎リスト 基礎下端～基礎下端筋までの補強筋が副基礎配筋と底盤補強筋の二種類記載されています。副基礎配筋を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	副基礎配筋を正として下さい。
31	S-05 S-22	(S-05.22) SRC柱リスト HOOP組立形状は以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □一般・仕口部共 異形鉄筋 H型(効型)	宜しいです。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
32	S-06 S-25	(S-06.25) 各部詳細図(1) 梁上端・下端・側面打増し要領は、基礎部・地上部全てに適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
33	S-25	(S-25) 各部詳細図(1) 犬走り詳細図の配筋要領は以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □短辺・長辺共 D10@200シングル 端部 1-D13	宜しいです。
34	S-25	(S-25) 各部詳細図(1) 設備基礎配筋詳細図が有りますが、設備基礎の詳細が不明です。必要な個所がありましたら御指示下さい。	平面詳細図1～3に記載の設備基礎のとおりです。
35	A-23 S-16	(A-23.S-16) 矩計図-1 X3通り、RSLのバラベツ受のスラブの記載が有りますが、構造図で確認できません。S10を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
36	A-23 A-24	(A-23.24) 1階内部土間スラブ下の断熱材(ホリスチレンフォーム t=30)の材種は、3種bと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
37	S-01 S-25 A-23 A-24	(S-01.25.A-23.24) 1階内部・外部土間下の地業が矩計図・特記仕様書構造関係(その1)・各部詳細図(1)で相違しています。以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □内部土間 捨コンクリート t=50 砕石 t=150 □外部土間 捨コンクリート t=50 砕石 t=60	構造図を正とし 捨コンクリート t=50 砕石 t=60として下さい。
38	S-14 S-15 A-10	(S-14.15.A-10) 確認ですが、エレベーターピットの耐圧版打継ぎ部はホーリング柱状図の孔内水位より止水板は不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要として下さい。
39	S-14 S-15 A-10	(S-14.15.A-10) 上記必要の場合、仕様を御指示下さい。	同上
40	A-20 A-21	(A-20.21) 敷地現況レベルは、立面図に記載の平均GLより設計GL±0と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-14図に設計GLを記載しております。
41	A-44	(A-44) 確認ですが、総合仮設計画図-1～3(参考図)の掘削土仮置スペースは使用可能と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
42	S-02	(S-02) 錆止め塗装はJIS-K5674 2回塗りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
43	S-17 S-18	(S-17.18) ベースプレート下端レベルは、スラブ天端レベル+50とありますが、軸組図では全てFL-〇〇とな ていますが、X2.3通り、Y2.3通りの柱はFL-450、左記以外は±0と考えて宜しいしょう か。御指示下さい。	宜しいです。
44	S-22	(S-22) 鉄骨柱はX.Y軸共SH材となっておりますが、Y軸はSH材を2等分の上溶接と考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
45	S-10 S-27	(S-10.27) 大梁と小梁の継手は、SRC大梁-小梁取り合い図によりプレート厚、ボルトは、鉄骨小梁仕 口リストに倣って宜しいでしょうか。	SRC大梁-小梁取り合い図はG.PL上の付けフランジ厚及び幅の記載しかあ りません。その他の仕様(G.PL厚、ボルト等)は鉄骨小梁仕口リストに倣ってく ださい。
46	S-26	(S-26)EV鉄骨柱-庁舎取り合い詳細図がありますが、塔屋部と重られますが伏 図、軸組図には見当たりません。構造図を御指示下さい。	別添参考図面のとおり
47	S-26	(S-26) 鉄塔柱-局舎柱部納まり図 現場溶接部(RFL+400)より上部は鉄塔工事(現場溶接含 む)別途工事範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設計図T-06、T-07に記載の通り、現場溶接部(RFL+400)より上部に鉄塔柱を 接続する計画となっております。
48	S-22 S-26	(A-22.S-26) 上記の場合、RFLより上部の鉄塔柱下部の立上り部RC躯体(RFL+400上部)が打設で きません。本工事での工事範囲を御指示下さい。	上記のとおり
49	T-01.06	(T-01.06) 本工事は無線鉄塔工事が別途であるため、本工事範囲内の鉄塔の柱脚鉄骨は(社)日 本鉄塔協会に加盟する製作工場である必要はなく、通常FABで施工してもよいと考えて 宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
50	A-39、06、各平 立断面図	(A-39、06、各平立断面図) A-39部分詳細図-1にてコンクリート化粧打放しの記載がございますが、各特記・平立断面 図・参考数量内訳書にはコンクリート打放し(B種)(部位によってはC種)及び防水形複層塗 材Eと記載され食い違っております。後者の各特記・平立断面図・参考数量内訳書に 倣った使用を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
51	A-12 A-39	(A-12、39) 上記が否の場合、コンクリート化粧打放しの範囲を御指示ください。	上記のとおり

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
52	A-24	(A-24) 矩計図-2にて塔屋EVシャフトが別途となるため、追加工事の金属屋根施工まで開口部となってしまう。ベニヤ等の仮設材にて仮塞ぎするものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
53	A-40	(A-40) 部分詳細図-2(A-21)EVシャフト屋根詳細図がございますが、EVシャフト工事は別途工事のため詳細図に記載されている内容は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
		(外 部)	
54	A-06 A-16 A-18	(A-06.16.18) 縦樋の仕様について、特記仕様書-4 屋根及びとい工事及び外部仕上表では鋼管となっていますが、外部仕上表及び平面図ではカラーVP管と相違しています。カラーVP管を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	カラーVP管を正としてください。
55	A-19 A-26	(A-19.26) 塔屋階段室出入口の庇について、平面図-2 Z5平面図ではアルミ庇となっていますが、階段詳細図-2ではRC庇と相違しています。RC庇を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
56	A-20 A-21	(A-20.21) 東・南・西面 外壁開口について、納まり詳細が不明です。御指示下さい。	RC開口として、特に枠等は見込みません。
57	A-24	(A-24) 1F廻り出入口ホーチの階段段床の仕上について、モルタル金鍍 仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	直均し、打放補修としてください。
58	A-27	(A-27) 平面詳細図-1において、Y3-X2通りに縦樋カラーVP管φ100の記載がございますが、上階にトレイン・縦樋の記載はございません。Y3-X2通りに縦樋は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
59	A-24 A-39	(A-24.39) 出入口庇の鼻先仕上について、矩計図-2では防水形複層塗材Eとなっていますが、部分詳細図-1ではウレタン塗膜防水と相違しています。防水形複層塗材Eを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	防水形複層塗材Eとします。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
60		下記項目について、御指示下さい。 □屋上 アスファルト防水…メーカー名・品番 □パラペット笠木等 ウレタン塗膜防水 X-2…メーカー名・品番	メーカーの指定はございません。
61	A-40	(A-40) 部分詳細図-2(A-15)EVシャフト屋根詳細図にタップの記載がございますが、各図面にはEVシャフトにタップの記載がございません。 屋上PHIに設置されているタップを図示していると考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
62	A-24	(A-24) 別途工事範囲のEVシャフト外壁ECPの足元埋込金物は本工事に含むと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
		(内 部)	
63	A-12	(A-12) 工事区分表において、消火器BOX設置が建築工事区分ですが、本工事での必要数・仕様が不明です。御指示下さい。	工事契約後、消防署と協議し、決定いたします。
64	A-12	(A-12) 上記質疑に関連し、消火器本体を建築工事で見込む必要がある場合は仕様と数量を御指示下さい。	現場説明書P.5.3(4)の記載の通り、本工事で見込む必要はございません。
65	A-16 A-41	(A-16.41) 室名札において、仕上表で室名札欄に○印の記載のある部屋は計8か所ですが、数量は部分詳細図-3 A-24に記載の10か所を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	扉ごとの設置を考慮し10か所としています。
66	A-36	(A-36) 天井点検口において、参考メーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	メーカーの指定はございません。
67	A-26 A-36	(A-26.3.6) 階段において、R階天井仕上が天井伏図で凡例7(DRt9.0+GBNC t9.5)ですが、階段詳細図2では直天の図示です。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を正とします。
68	A-16	(A-16) 床下地において、スラブレベルが-50となる範囲は特記無き限りモルタル下地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増しコン厚50とします。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
69	A-06	(A-06) 上記質疑が正の場合、下記について御指示下さい。 □1F蓄電気室の床仕上が仕上表でDP(耐候性塗料)となっていますが、蓄電器室はスラブレベル-50のままコンクリート面にDP塗装と考えて宜しいでしょうか □特記仕様書-4 左官工事において、モルタル塗り 床の目地 ※2m程度(最大目地間隔3m程度)が適用となっていますが、本工事ではビニルタイル仕上の為、目地の施工は不要と考えて宜しいでしょうか。又、必要な場合は目地の施工範囲と目地サイズ・充填剤の有無を併せて御指示下さい。	上記増し打ちコンクリートで計上しているので不要です。
70	A-08 A-16	(A-08.16) 床仕上 ビニル床タイルt2.0・t4.0において、それぞれ参考メーカー・品番御座いましたら御指示下さい。	メーカーの指定はございません。
71	A-08 A-16	(A-08.16) ビニル床シートにおいて、水廻りに施工する際、エポキシ樹脂系接着剤を見込んで宜しいでしょうか。又、参考メーカー・品番御座いましたら併せて御指示下さい。	宜しいです。
72	A-16	(A-16) 仕上表において、天井(4)DRの下張りは※GB-R12.5mm GB-NC9.5mmとする。の記載があり、GB-Rを適用となっておりますが、各部屋仕上ではGB-NC t9.5捨張り DRt9.0 不燃と相違しています。DRt9.0の捨張りはGB-NCt9.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	各部屋仕上表とおりDRt9.0の捨張りはGB-NCt9.5とします。
73	A-23	(A-23) 1F電気室において、矩計図に増打ち(ピット用)の記載が御座いますが、嵩上げコンクリートと考えて宜しいでしょうか。又、嵩上げコンクリート内にφ6 100角の溶接金網を見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	嵩上げコンクリートとします。 S-25のスラブ上端打増し要領図に従い鉄筋を見込んでください。
74	A-16	(A-16) 壁仕上 化粧ケイカル板において、施工方法はシーリング工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	シーリング工法でよろしいです。
75	A-41	(A-41) 部分詳細図-3<A-23>において、配線ピットの仕上にモルタル金罫の上塗膜防水Cの記載が御座いますが、塗膜防水Cの仕様が不明です。参考メーカー・品番御座いましたら併せて御指示下さい。	塗膜防水 Y-2とします。
76	A-16 A-27	(A-16.27) 1F蓄電気室において、仕上表備考欄に防油堤(塗膜防水)の記載が御座いますが、出入口扉(SD1-1)側の床も塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。又、塗膜防水の仕様が不明です。参考メーカー・品番御座いましたら併せて御指示下さい。	塗膜防水 Y-2とします。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
77	A-31 ～35	(A-31～35) 展開図-1～5において、壁開口の図示が御座いますが、ベニヤ等の仮設材にて仮塞ぎするものと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
78	A-23 A-24	(A-23.24) 矩計図-1～2において、3Fレター機器室の上部に壁:ケイカル板+EPの記載が御座いますが、壁下地はLGS65型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
79	A-16 A-40	(A-16.40) 1F廊下の床見切において、部分詳細図-2<A-16>では沓摺:SUS製 t2.0 HLと記載が御座いますが、平面詳細図-1では床見切:SUS FBと相違しています。部分詳細図-2を正と考えて宜しいでしょうか。又、踏込部の仕上が変わる場合仕様を併せて御指示下さい。	宜しいです。
80	A-16	(A-16) 1F電気室、畜電気室において、仕上表備考欄に排気口、給気口の記載が御座いますが、建築工事で見込むものがありましたら御指示下さい。	特にありません。
81	A-27 ～29	(A-27～29) 平面詳細図-1～3において、破線で丸数字の図示が御座いますが、詳細不明です。建築工事で見込むものが御座いましたら詳細図等併せて御指示下さい。	特にありません。
82	A-16 A-28	(A-16.28) 2階PS 壁仕上において、仕上表では軽鉄面:GB-Rt12.5 素地の記載が御座いますが、平面図では壁凡例L3(GB-Rt12.5+12.5)の記載があり相違しています。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB-Rt12.5とします。
83	A-16	(A-16) PS 床仕上において、仕上表に防塵塗装の記載が御座いますが、参考メーカー及び品番御座いましたら御指示下さい。	メーカー・品番は指定していないが、下記同等品以上とする。 防塵塗装:カーABC商会 カラトップエコ
84	A-39	(A-39) 便所において、A-10便所・洗面:便所ブース標準平面にラインク壁:化粧ケイカル板の記載が御座いますが詳細が不明です。LGS65+化粧ケイカルt6.0(捨貼GB-Rt12.5共)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	化粧ケイカル+GB-R12.5+LGS65形とします。
85	A-34	(A-34) 紙巻器において、取付下地補強に耐水合板 t12.0を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいが、設計変更の対象にはしません。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
86	A-34	(A-34) 便所-1・2において、手洗台の図示が御座いますが、天板・下部収納の仕様が不明です。仕様・参考メーカー及び品番御座いましたら併せて御指示下さい。	メーカーの指定は特にございません。
87	A-12	(A-12) 便所において、特記仕様書7に鏡の記載が御座いますが、ステンス枠共・各1ヶ所ずつと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	宜しいです。
88	A-16	(A-16) 確認となりますが、防塵塗装において、内部仕上げにRC、床用塗料、防塵用塗料・増打厚さ10mmの記載が御座いますが、増打コンクリートと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表の下地に記載がある床高を優先している為、基本的に厚50とします。
89	A-16	(A-16) 便所において、仕上表 備考にファイリング壁の記載が御座いますが詳細が不明です。建築工事で必要な物が御座いましたら御指示下さい。	特にありません。
90	A-09	(A-09) 確認となりますが、便所手摺において、特記仕様書7に手摺の記載が御座いますが部分詳細図1(A-10)では適用外になっている為手摺は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
91	A-13	(A-13) 設計概要書・案内図において、内部の主要な仕上欄にタイルカーペットが適用となっておりますが、施工範囲・仕様が不明です。御指示下さい。	タイルカーペットの適用はありません。
92	A-27 ～29	(A-27～29) 平面詳細図-1～3において、2階便所廻りの遮音間仕切の凡例にGW24K 50mm充填 仕上・下地・スラブ下までの記載が御座いますが、天井懐内は便所内の壁仕上 GB-Rt12.5+化粧ケイカル板のGB-Rt12.5のみスラブまで貼り延ばすものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	化粧ケイカル+GB-Rt12.5とします。
93	A-27 ～29	(A-27～29) 上記質疑に関連し、消火器本体を建築工事で見込む必要がある場合は仕様と数量を御指示下さい。	現場説明書P.5.3(4)の記載の通り、本工事で見込む必要はございません。
94	A-16	(A-16) 1階蓄電池室において、仕上表 床にDPの記載が御座いますが、DP-1と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	DP-1(A種)とします。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
95	A-24	(A-24) EVピットにおいて、矩計図-2に塗膜防水の図示が御座いますが詳細が不明です。仕上等を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □床…コンクリート金鰈 ホリマーセメント系 塗膜防水 □壁…コンクリート打放補修 ホリマーセメント系 塗膜防水 又、ホリマーセメント系 塗膜防水 を正とする場合、参考メーカー及び品番御座いましたら御指示下さい。	塗膜防水 Y-2とします。
96	A-18	(A-18) EVシャフトにおいて、詳細が不明です。仕様等を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □煙感知器点検扉…スチール焼付塗装 1.6加工 200角 ロックネジ留 1か所 □EV扉…W800×H2000 又、その他必要な建築工事範囲の物等御座いましたら詳細併せて御指示下さい。	EVシャフトは無線鉄塔工事内で取り付けるため、本工事では範囲外となります。
97	A-40	(A-40) EVシャフト吊りフックにおいて、部分詳細図-2に吊りフックの記載が御座いますが詳細が不明です。建築工事範囲外と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、建築工事範囲の場合、サイズ等詳細を併せて御指示下さい。	吊りフックは無線鉄塔工事内で取り付けるため、本工事では範囲外となります。
98	A-09 A-23 A-24 A-27 ～30 A-36	(A-09.23.24.27～30.36) 断熱材において、仕様・範囲を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □仕様 ・(特記仕様書-7.A-09/矩計図-1.A-23より)硬質ウレタンフォーム吹付 t=25 A種1H 不燃 □範囲 ・(平面詳細図-1～4.A-27～30より)壁…不燃断熱材の図示・記載のある範囲 ・(天井伏図.A-36より)天井スラフ下…電気室・蓄電池室・UPS一部 ・(矩計図-1～2.A-23.24より)天井スラフ下折返し…最上階外周面・熱橋部天井 L=900	宜しいです。
99	A-23 A-24 A-39	(A-23.24.39) ハト小屋断熱材において、矩計図-1.2に断熱材 t=30 打込 の記載があり、部分詳細図-1.A-39では壁に断熱材 t=40 打込 の記載が御座います。仕様等を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □ハト小屋天井…硬質ウレタンフォーム打込 t=30 □ハト小屋壁…硬質ウレタンフォーム打込 t=40	両方厚30とします。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
100	A-16 A-36	(A-16.36) UPS室断熱材において、仕上表.A-16に天井一部PF板と記載が御座いますが天井伏図.A-36ではウの不燃断熱材 t=25 と記載が御座います。UPS室天井の断熱材は硬質ウレタンフォーム吹付 t=25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
101	A-23 A-26 S-24	(A-23.36.S-24) 耐火被覆において、仕様・範囲が不明確です。 矩計図-1に 巻付け耐火被覆材 t=40 と記載が御座いますが天井伏図.A-36には 鉄骨梁・巻付け耐火被覆材 t=20 と記載があり相違しています。天井伏図を正と考え、仕様・範囲を下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □仕様 ・巻付け耐火被覆材 t=20 直貼 1時間耐火 □範囲 ・全ての鉄骨梁(鉄骨部材リスト.S-24のSB50.SB60.SB60B) 又、巻付け耐火被覆材の参考メーカー及び品番御座いましたら詳細併せて御指示下さい。	仕様・範囲は左記の通りで宜しいです。 メーカーについては指定ありません。
102	A-41 S-16	(A-41.S-16) 部分詳細図において、ハントホール詳細図がございますが、構造図でハントホールの図示が御座いません。部分詳細図を正としハントホールを見込んで宜しいでしょうか。又、タップはステンレス研磨無と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	宜しいです。
103	A-41	(A-41) 上記質疑に関連し、部分詳細図に記載の下記の項目の参考メーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。 □釜場 塗膜防水 □鉄蓋 800×400	塗膜防水 Y-2とします。 鉄蓋 800×400とします。
104	A-16	(A-16) 1FUPS室・各階PSにおいて、仕上表 天井にRC(C)の記載が御座いますが、上部がデッキスラブの場合は仕上(デッキ面塗装等)は不要と考えて宜しいでしょうか。仕上が必要な場合は詳細を併せて御指示下さい。	宜しいです。

件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
		(建 具)	
105	A-38	(A-38) SD・SSD・LDにおいて、建具表 備考にGW充填とありますが、扉内充填と考えて宜しいでしょうか。又、密度等詳細御座いましたら併せて御指示下さい。	宜しいです。 密度はグラスウール(24kg/m ³)充填として下さい。
106	A-38	(A-38) 建具表 共通事項において、形状(1)鋼製戸のうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とするとありますが、適用建具は、SD2・4と考えて宜しいでしょうか。又、その場合、GW充填は不要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	SD2、SD4共に両面フラッシュとします。 グラスウール充填は必要となります。
107	A-07 A-38	(A-07.A-38) 特記仕様書-5において、16建具工事 ステンレス製建具で外部に面する建具の耐風圧性 建具符号は建具表によるとありますが、建具表に記載がありません。外部に設置する全てに適用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
108	A-37 A-38	(A-37.A-38) SSD6において、建具表で2か所と記載がありますが、 建具キープランでは1か所図示があり相違しています。キープランを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	鉄塔部分に1か所図示されております。 2か所共無線鉄塔工事内で取り付けるため、本工事では対象外となります。
109	A-37 A-38	(A-37.A-38) 建具表において、SSD8の記載がありますが、キープランに図示が無く取付場所が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。又、必要な場合は取付場所を併せて御指示下さい。	宜しいです。
110	A-38	(A-38) 建具表において、備考に扉仕上の記載がありますが、枠仕上も同仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	枠仕上も同様とします。
111	A-38	(A-38) LDにおいて、仕上の記載がありませんが、扉・枠共にSOP塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。又、異なる場合は仕上詳細を併せて御指示下さい。	扉枠共にSOP塗装とします。
112	A-38	(A-38) LDにおいて、ガリの開口率は35%程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
113	A-38	(A-38) LDにおいて、建具表 共通事項扉見込寸法の目安で36(製造所によっては40)とありますが、本工事では36mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

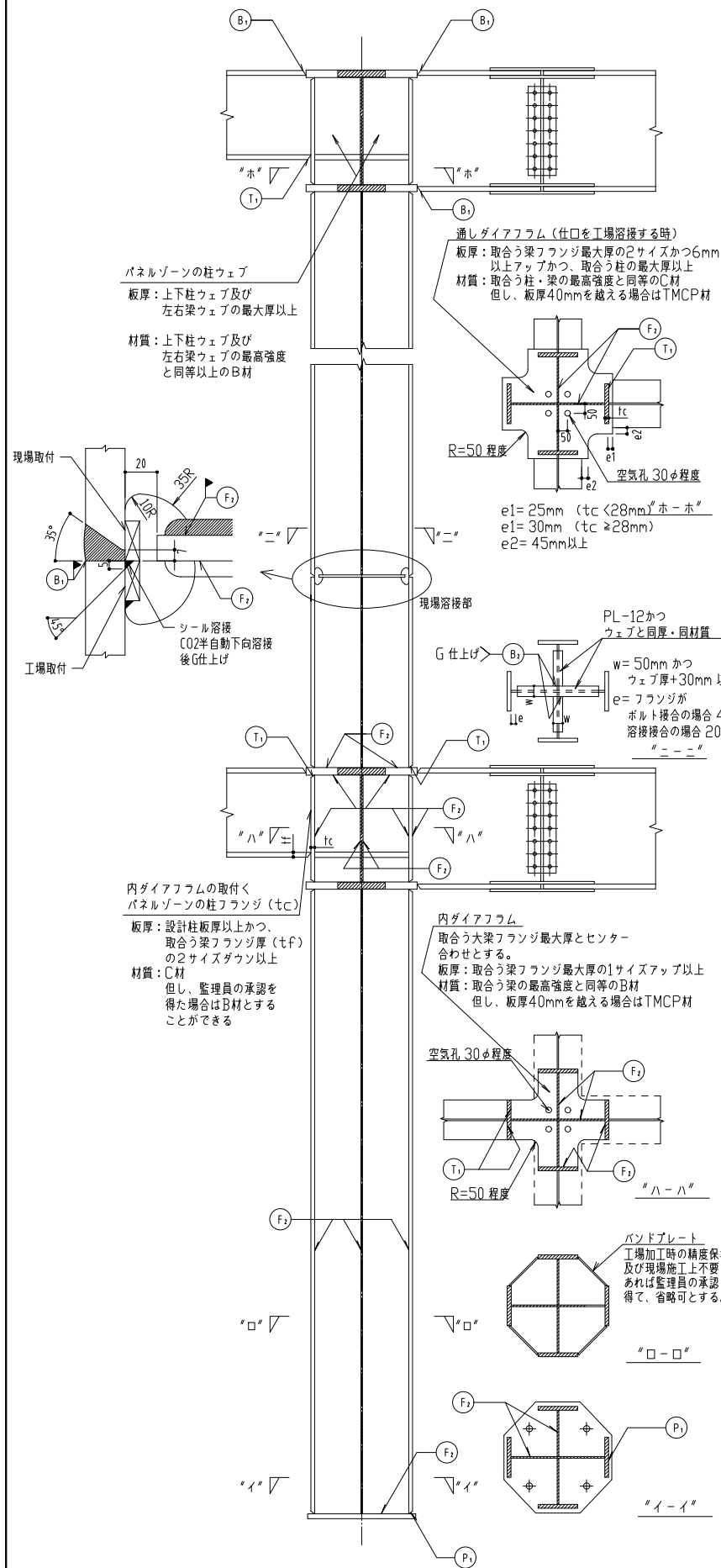
件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
114	A-38	(A-38) AGIにおいて、建具表 建具金物に防鳥網とありますが、ステンズ製と考えて宜しいでしょうか。又、異なる場合は材質を併せて御指示下さい。	防鳥網ではなく、防虫網が正となります。 なお、材質は合成樹脂製とします。
115	A-06 A-38	(A-06.A-38) 特記仕様書-4において、16建具工事 アルミニウム製建具 外部に面する建具の種別でB種に適用がありますが、本工事 アルミ製建具がガリのみでの為、誤記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
116	A-06 A-38	(A-06.A-38) 特記仕様書-4において、16建具工事 アルミニウム製建具 材料でステンズ鋼板 沓摺 HLとありますが、本工事 アルミ製建具がガリのみでの為、誤記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
		(外 構)	
117	A-42	(A-42) 外構工事で使用するコンクリートは、特記無き限り下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □捨てコンクリート Fc18N/mm2 S15cm □土間コンクリート Fc21N/mm2 S18cm □鉄筋コンクリート Fc21N/mm2 S18cm	宜しいです。
118	A-42	(A-42) 外構図中「②外部土間コンクリート伸縮目地…」にM9-25-01の標記がありますが、建築工事標詳の分類番号のことでしょうか。その場合、同書令和4年度版での9-25- 01は駐車場 車止めの標準詳細あり、図の内容との関連性はないと思われますが、如何様に考えれば宜しいでしょうか。御指示下さい。	M9-25-01の標記は誤記になります。A-42図のとおりで問題ございません。
119	A-42	(A-42) 「②外部土間コンクリート」について、不明点を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 □コンクリート厚 t=150mm □配筋要領 D10-@200シングルクロス □地業 クラッシュラン t=150mm	宜しいです。
120	A-18 A-27 A-42	(A-18.27.42) 建屋北側の外部土間コンクリートの範囲が、1階平面(詳細)図と外構図とで相違しています。外構図での範囲を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

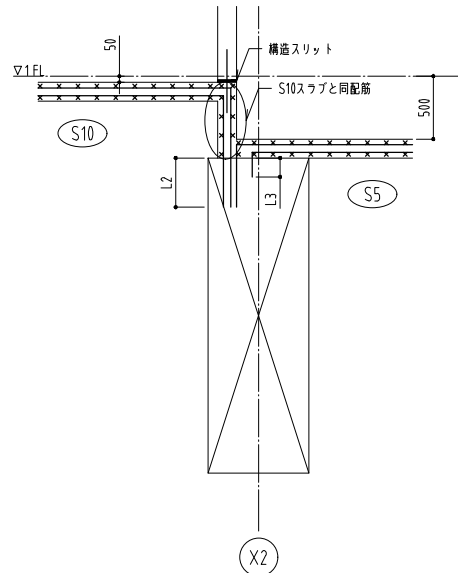
件名：成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事

質問 番号	図面番号	質 疑	回 答
121	A-27 A-42 S-26	(A-27.42.S-26) 屋外室外機置場の機械基礎(1200×600×H600)の配筋等の詳細は、構造各部詳細図(2)の「地上設備基礎配筋詳細図(トーフ基礎形式)」に倣い、地業は図示の捨て コンクリートt=50mmに加えクラッシュランt=150mmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	屋外室外機置場の機械基礎(1200×600×H600)の配筋厚さ等の詳細は、「地上設備基礎配筋詳細図(ゲタ基礎形式)」として下さい。
122	A-27	(A-27) 屋外室外機置場の架台「H200×200×8×12」は溶融亜鉛メッキ仕上にSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SOP塗装は不要です。
		(設 備)	
123	E-02	(E-02) 電気設備の受変電及び電気引込工事において別途工事となっておりますが、試運転調整は仮設電源にて行い、幹線ケーブルをキュービクルに繋ぎこむ工事は別途工事を考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	宜しいです。
124	M-09	(M-09) 給水設備において制水弁以降が本工事となっておりますが、制水弁への給水配管接続時期を御指示ください。	制水弁への給水本管配管接続時期は、現時点において決定していません。本管側の工事時期を含め、契約後の協議により接続時期を決定します。

十字柱（SRC柱）溶接要領

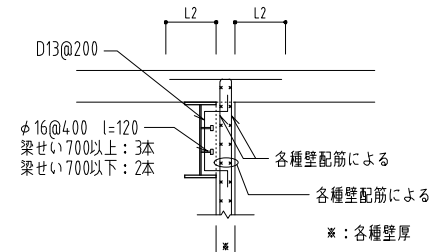


1階×2通りスラブ段差配筋要領図

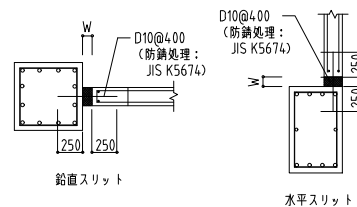


RC壁床取り合い要領

A1/1:30 A3/1:60



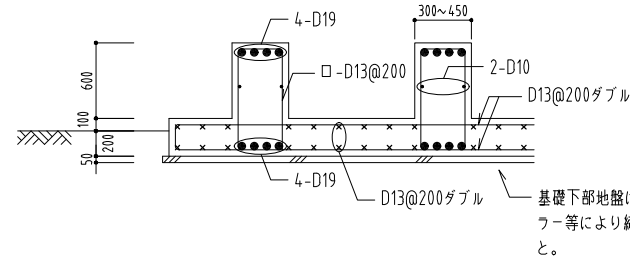
構造スリット詳細



1. 鉛直スリットの場合、幅Wは壁の内のり高さの1/100以上とし、水平スリットの場合、幅Wは25mm程度とする。
 2. スリットは完全（全貫通型）スリット、耐火型、防水性能ありとする。
- 耐火壁の目地は耐火目地材を充填すること。

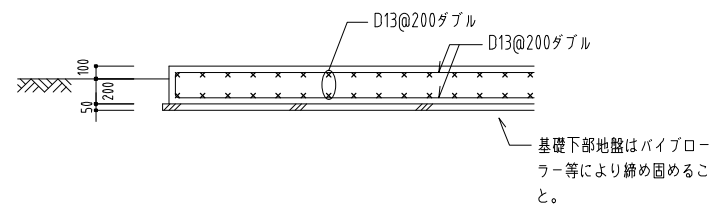
地上設備基礎配筋詳細図（ゲタ基礎形式）

A1/1:30 A3/1:60

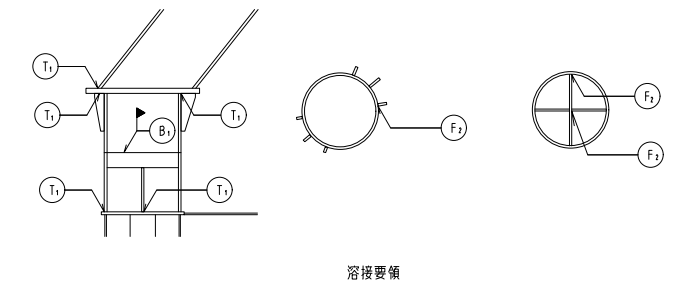
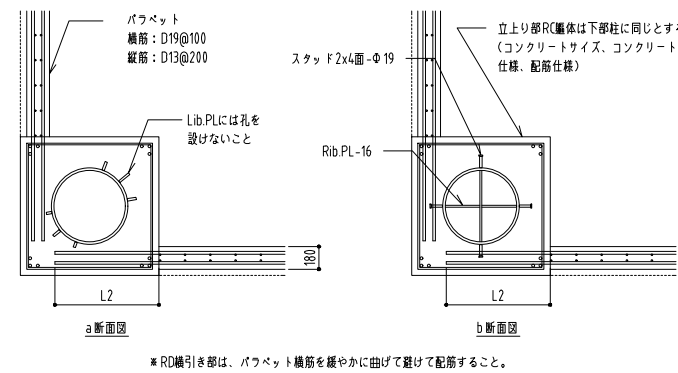
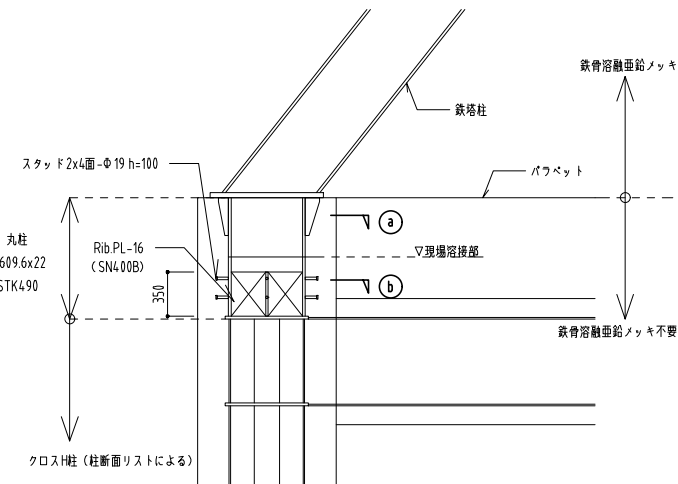


地上設備基礎配筋詳細図（トーフ基礎形式）

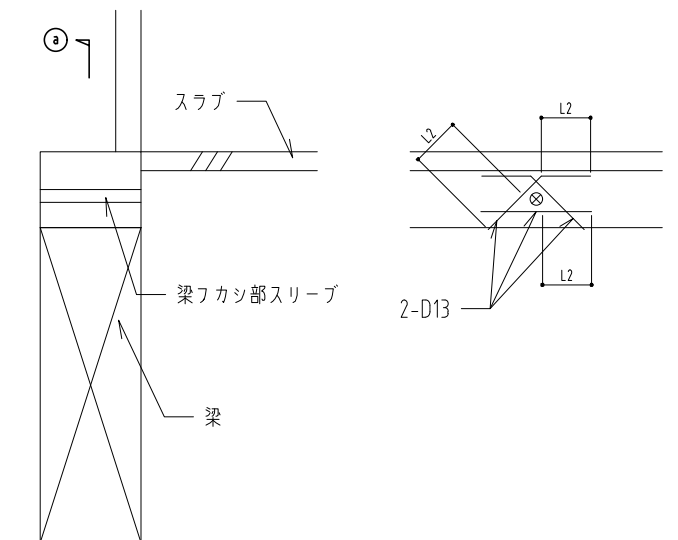
A1/1:30 A3/1:60



鉄塔柱-局舎柱部納まり図



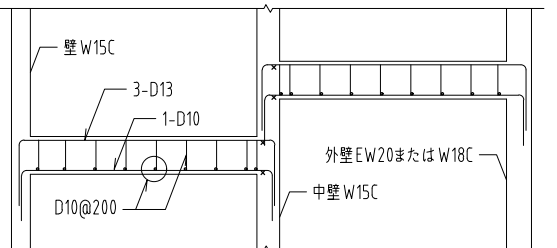
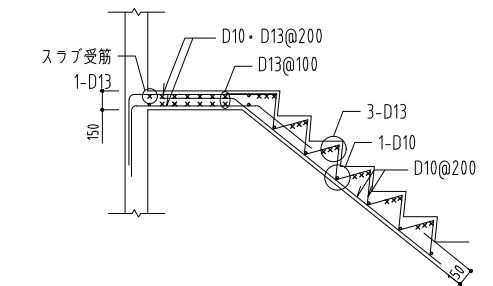
梁フカシ部スリーブ補強要領



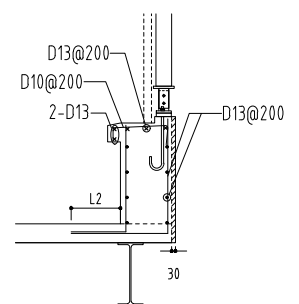
a矢視図

屋内RC階段配筋詳細図

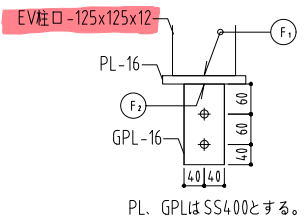
A1/1:30	A3/1:60
---------	---------



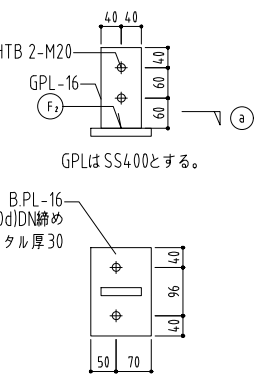
EV鉄骨柱-庁舎取り合い詳細図



▨ 部分はEV柱ベースプレート部のみふかすものとする。



PL、GPLはSS400とする。



GPLはSS400とする。

B.PL-16
A.bolt 2-M16(L=20d)DN締め
モルタル厚30

BPL、A.boltはSS400とする。

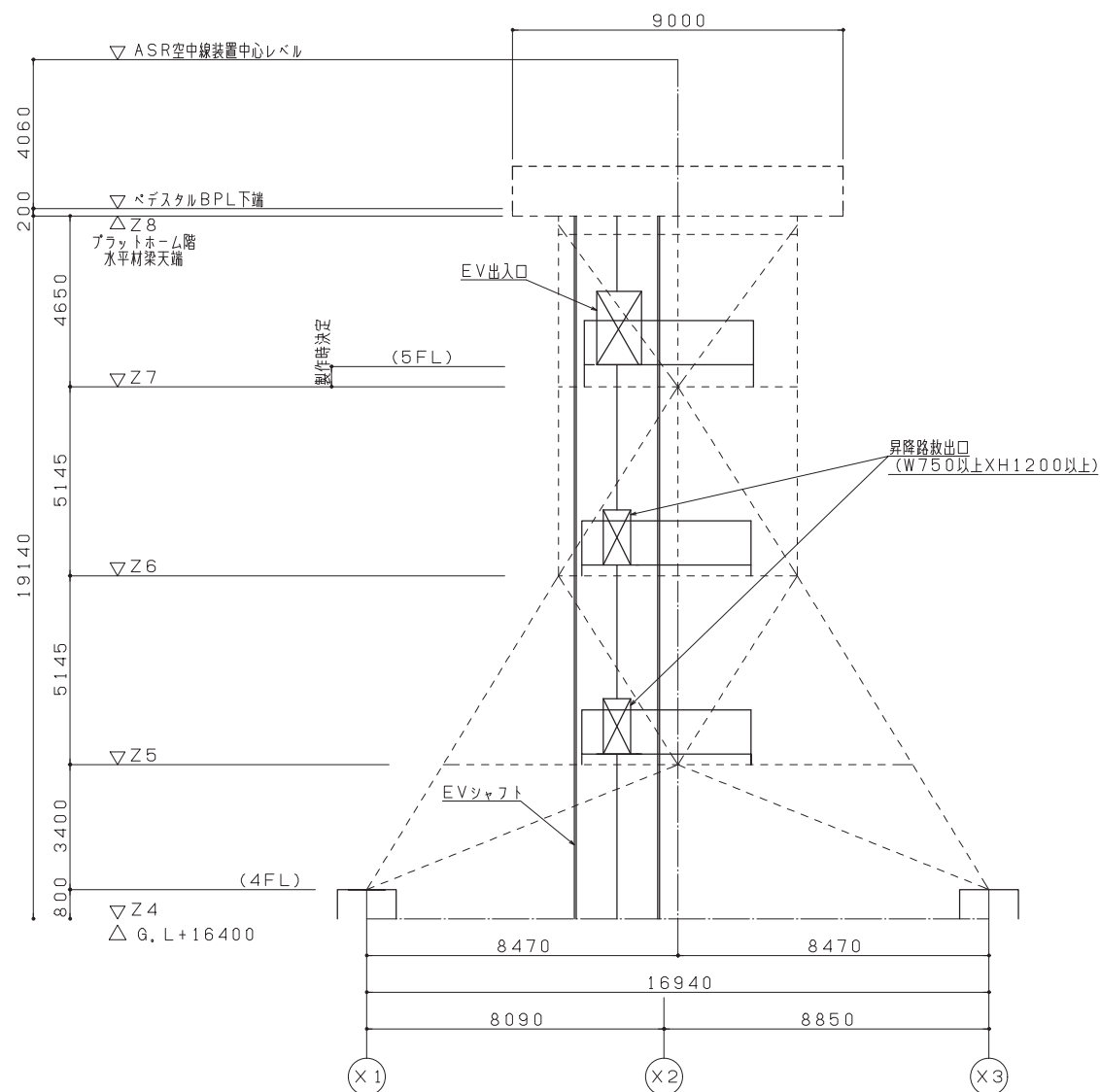
国土交通省 東京航空局 空港部 建築課

名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事
	各部詳細図(2)

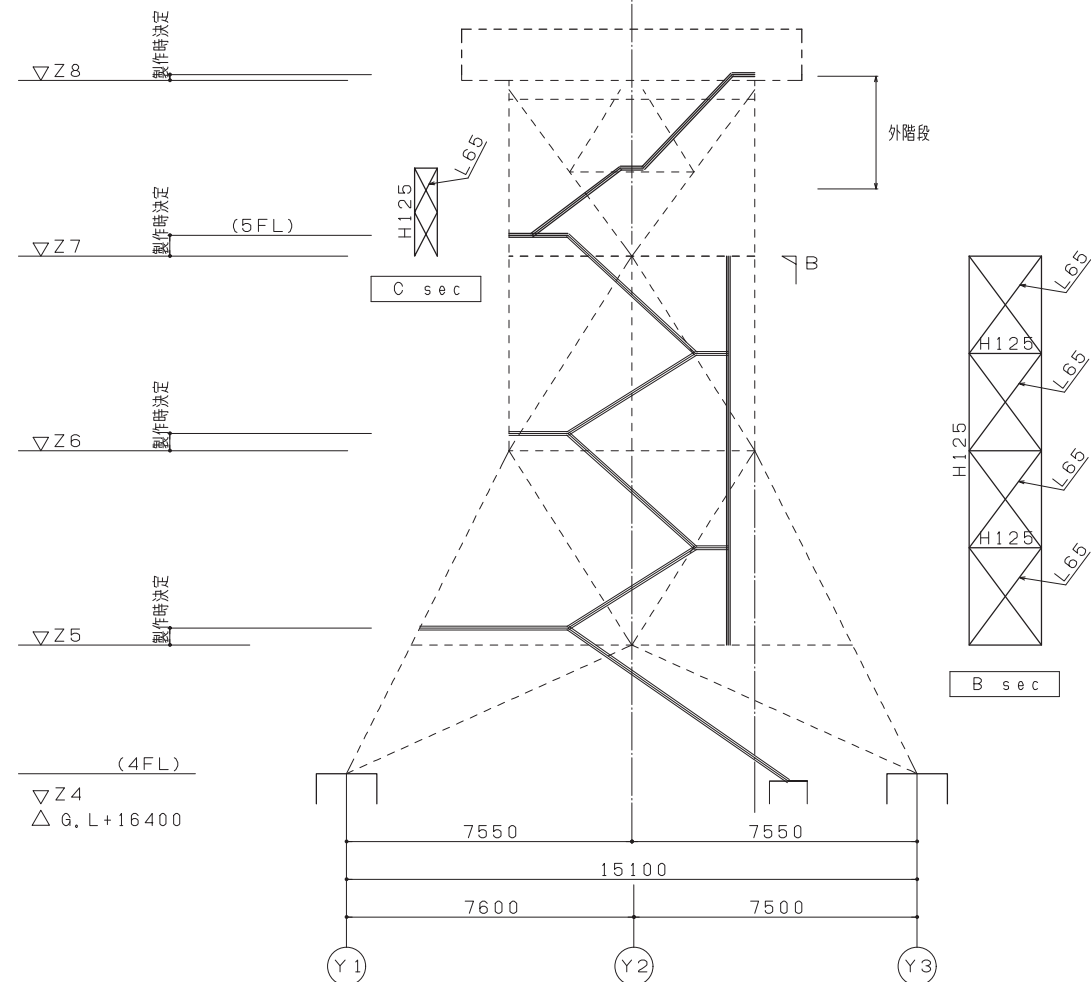
令和5年3月	単位	mm	尺度		図番	S-26
--------	----	----	----	--	----	------

調査職員	主任調査員	設計者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥井達人	審
	現場調査員 荒砂 慶一 佐間野 大成			

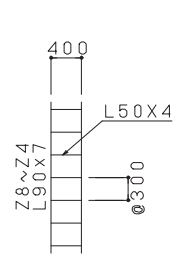
参考図面



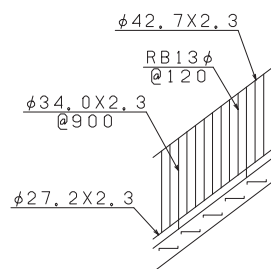
EVシャフト図



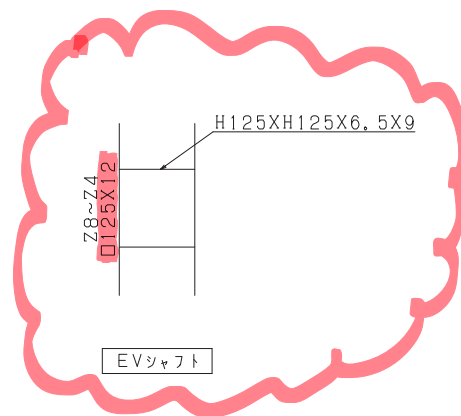
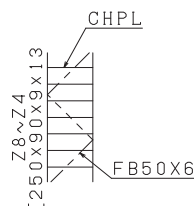
階段



導波管ラック



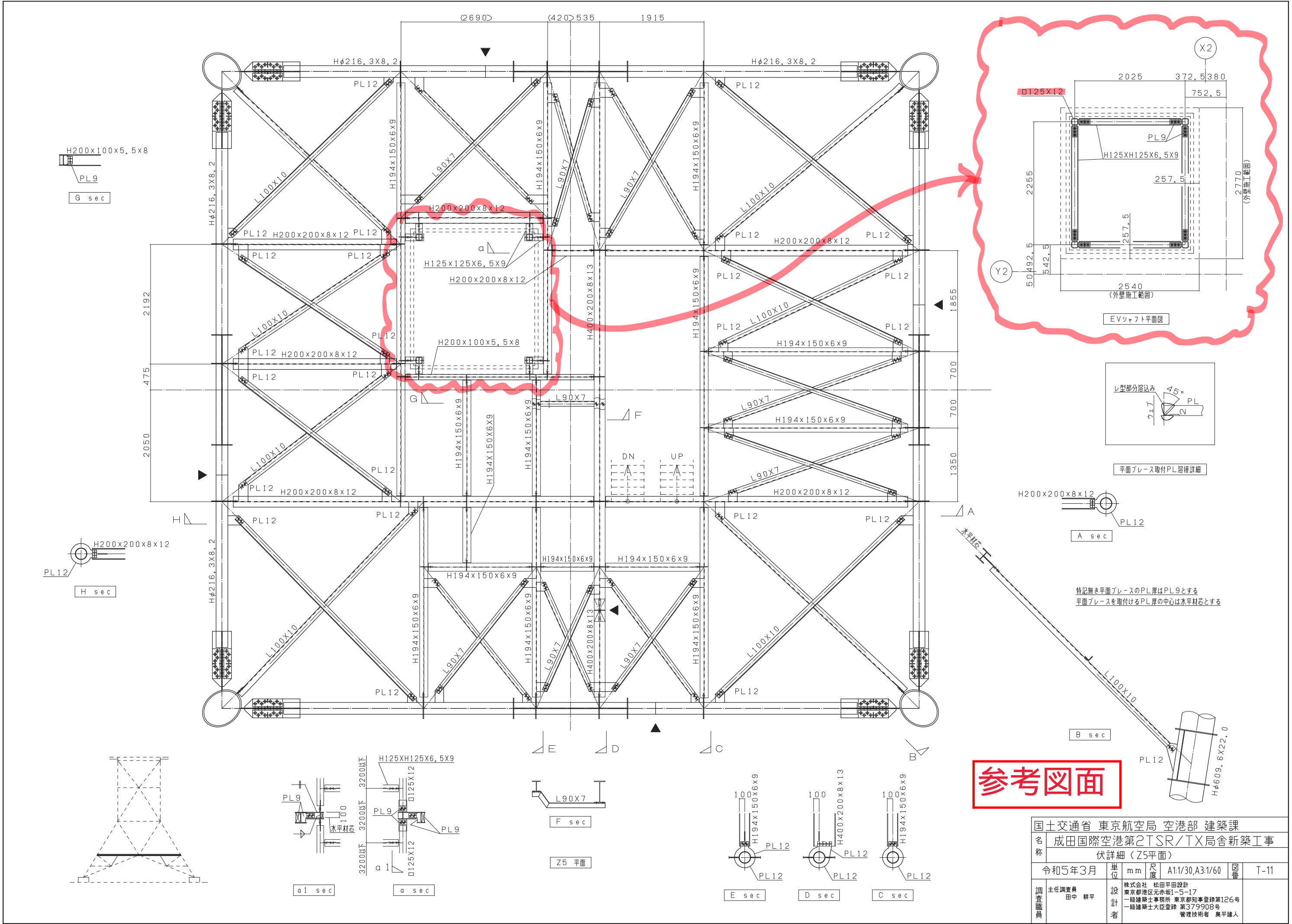
階段



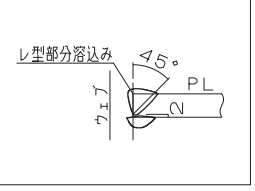
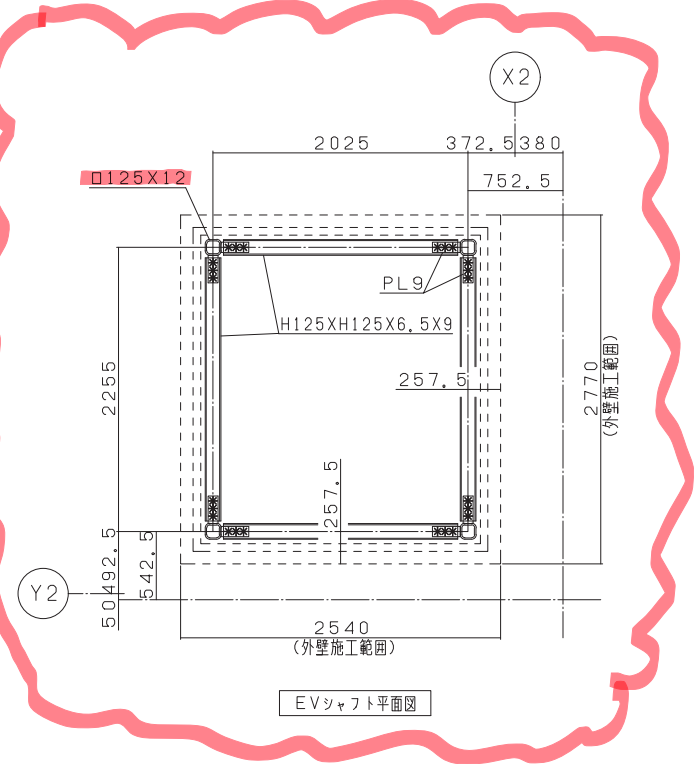
EVシャフト

参考図面

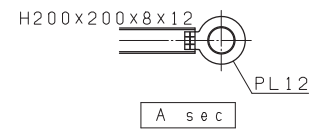
国土交通省 東京航空局 空港部 建築課						
名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事					
	EVシャフト・階段軸組図					
令和5年3月	単位	mm	尺度	A1:1/100,A3:1/200	図番	T-03
調査職員	主任調査員 田中 耕平	設計者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥平健人			



参考図面

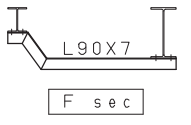
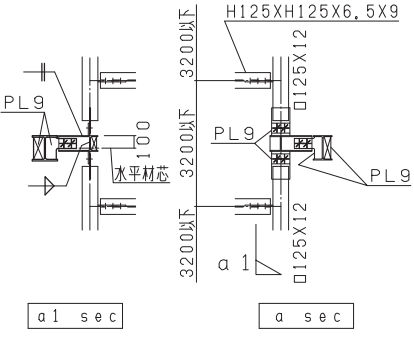
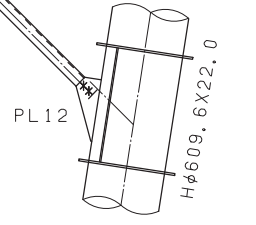


平面ブレース取付PL溶接詳細

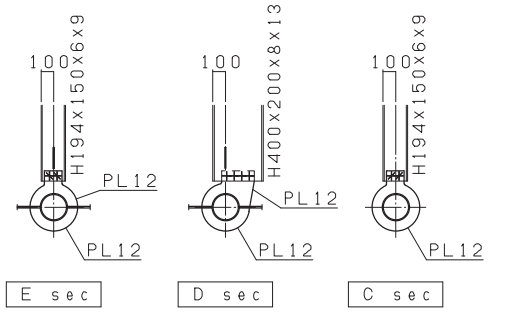


特記無き平面ブレースのPL厚はPL9とする
平面ブレースを取付けるPL厚の中心は水平材芯とする

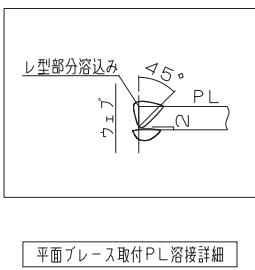
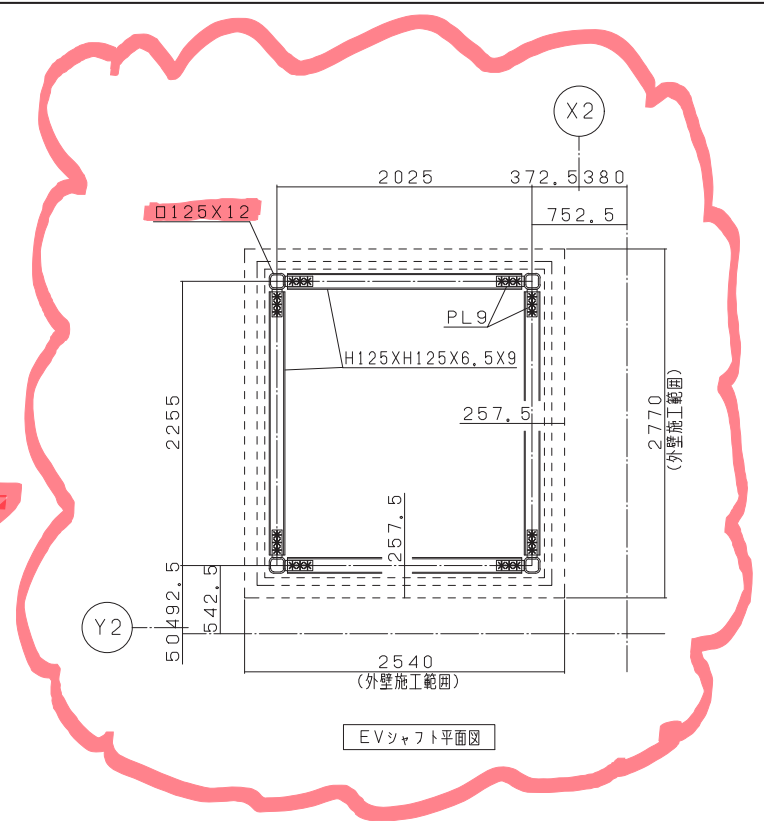
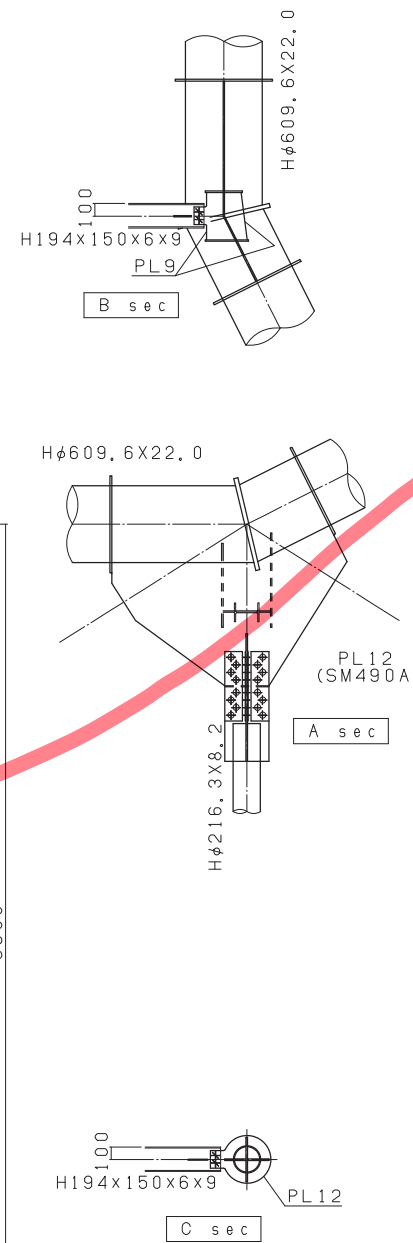
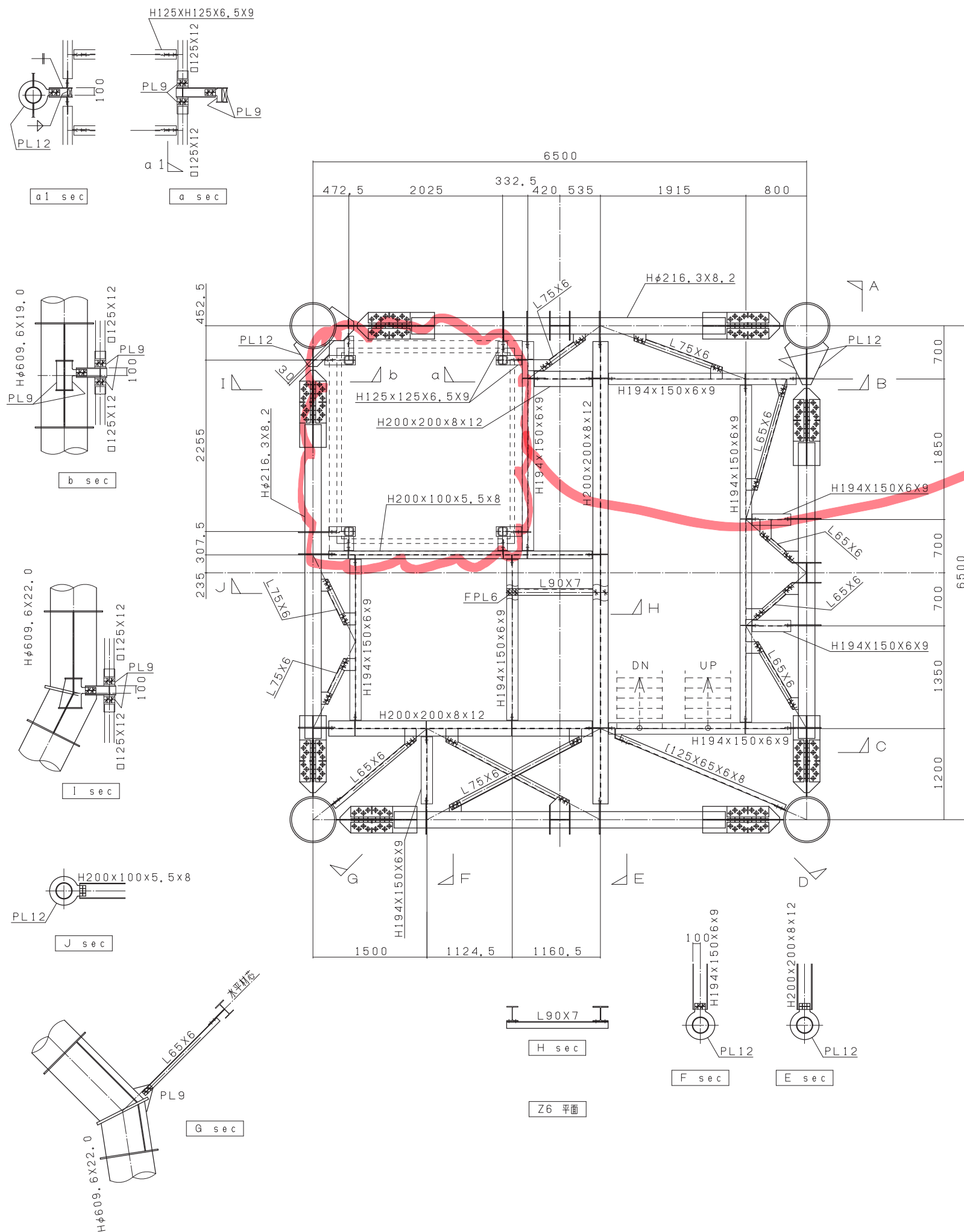
B sec



Z5 平面



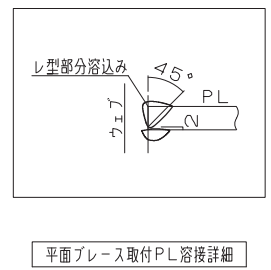
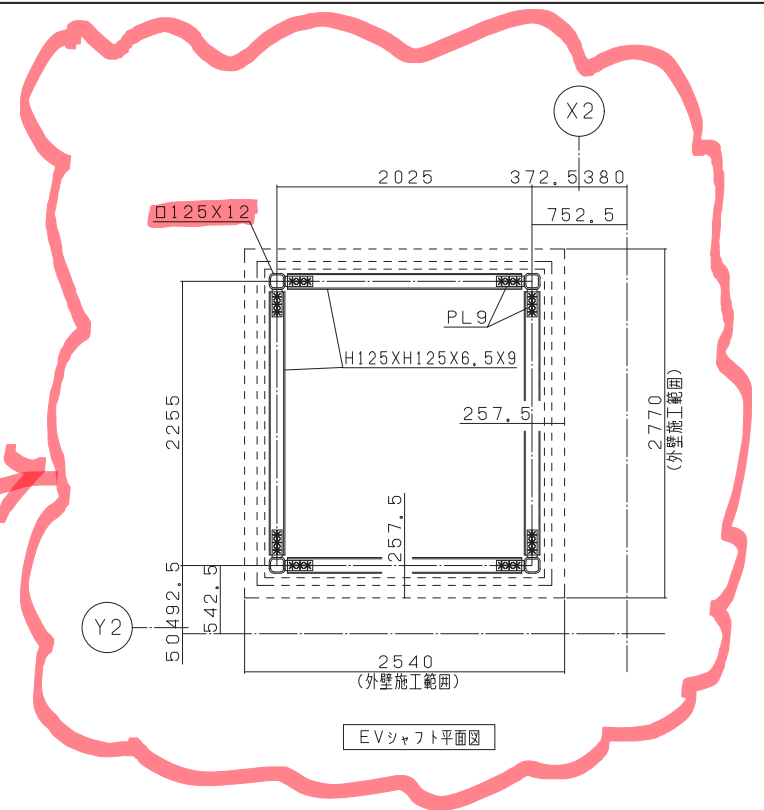
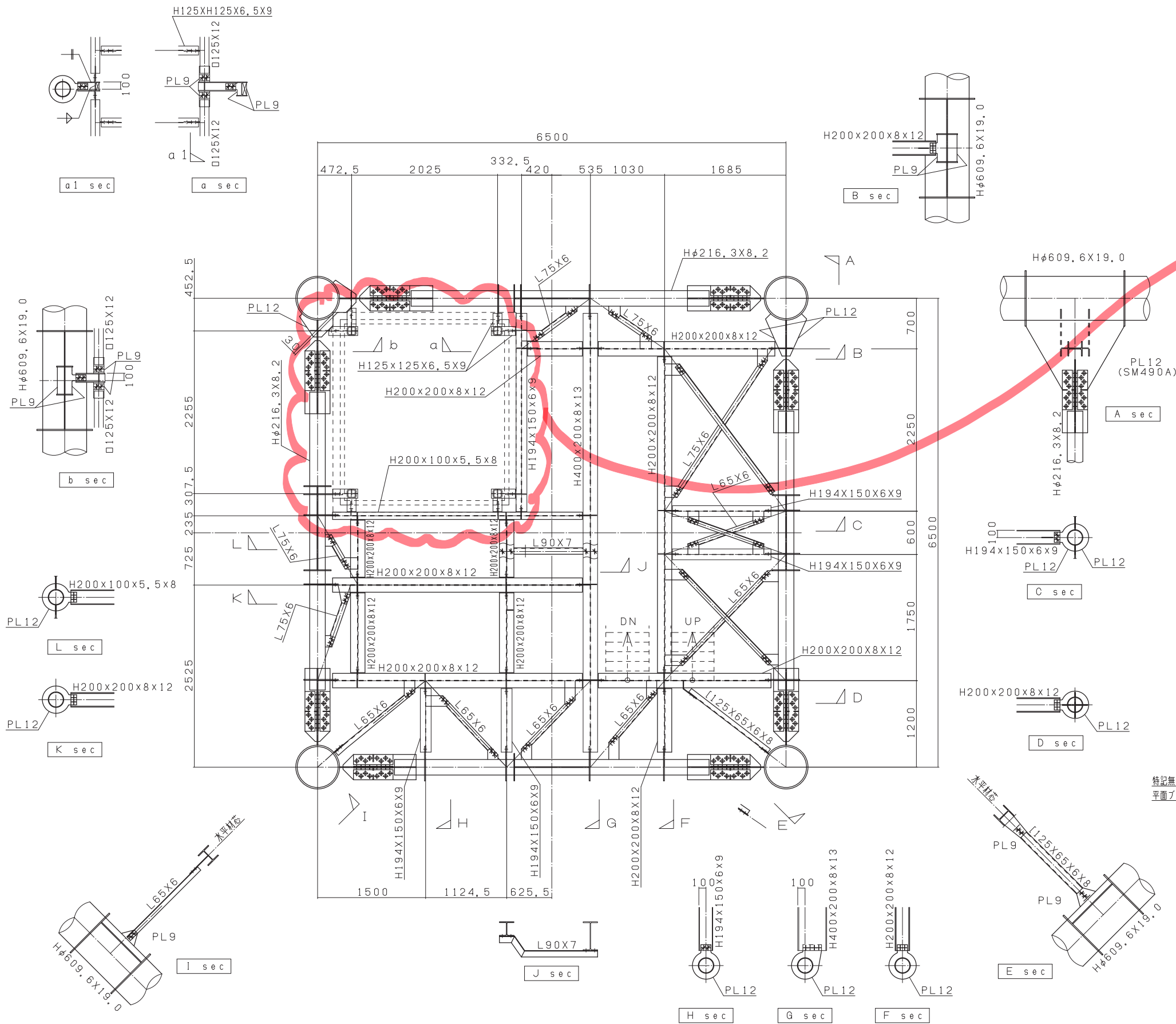
国土交通省 東京航空局 空港部 建築課					
名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事				
	伏詳細（Z5平面）				
令和5年3月	単位	mm	尺度	A1:1/30,A3:1/60	図番 T-11
調査職員	主任調査員	設計者	株式会社 松田平田設計		
	田中 耕平		東京都港区元赤坂1-5-17		
			一級建築士事務所 東京都知事登録第126号		
			一級建築士大臣登録 第379908号		
			管理技術者 奥平健人		



特記無き平面ブレースのPL厚はPL9とする
平面ブレースを取付けるPL厚の中心は水平材芯とする

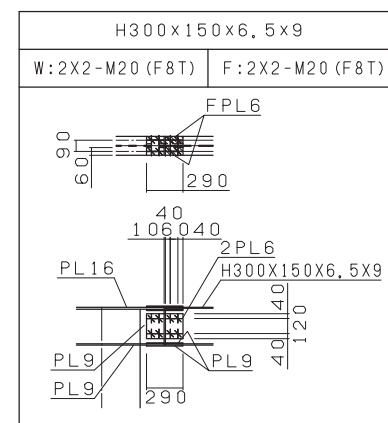
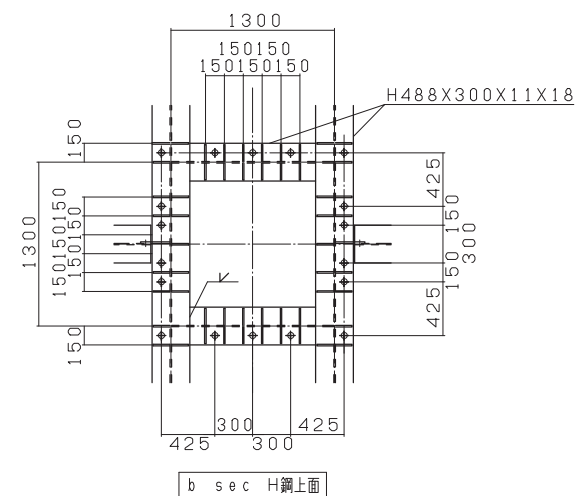
参考図面

国土交通省 東京航空局 空港部 建築課					
名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事				
	伏詳細 (Z6平面)				
令和5年3月	単位	mm	尺度	A1:1/30, A3:1/60	図番
調査職員	主任調査員 田中 耕平	設計者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥平 健人		
				T-12	

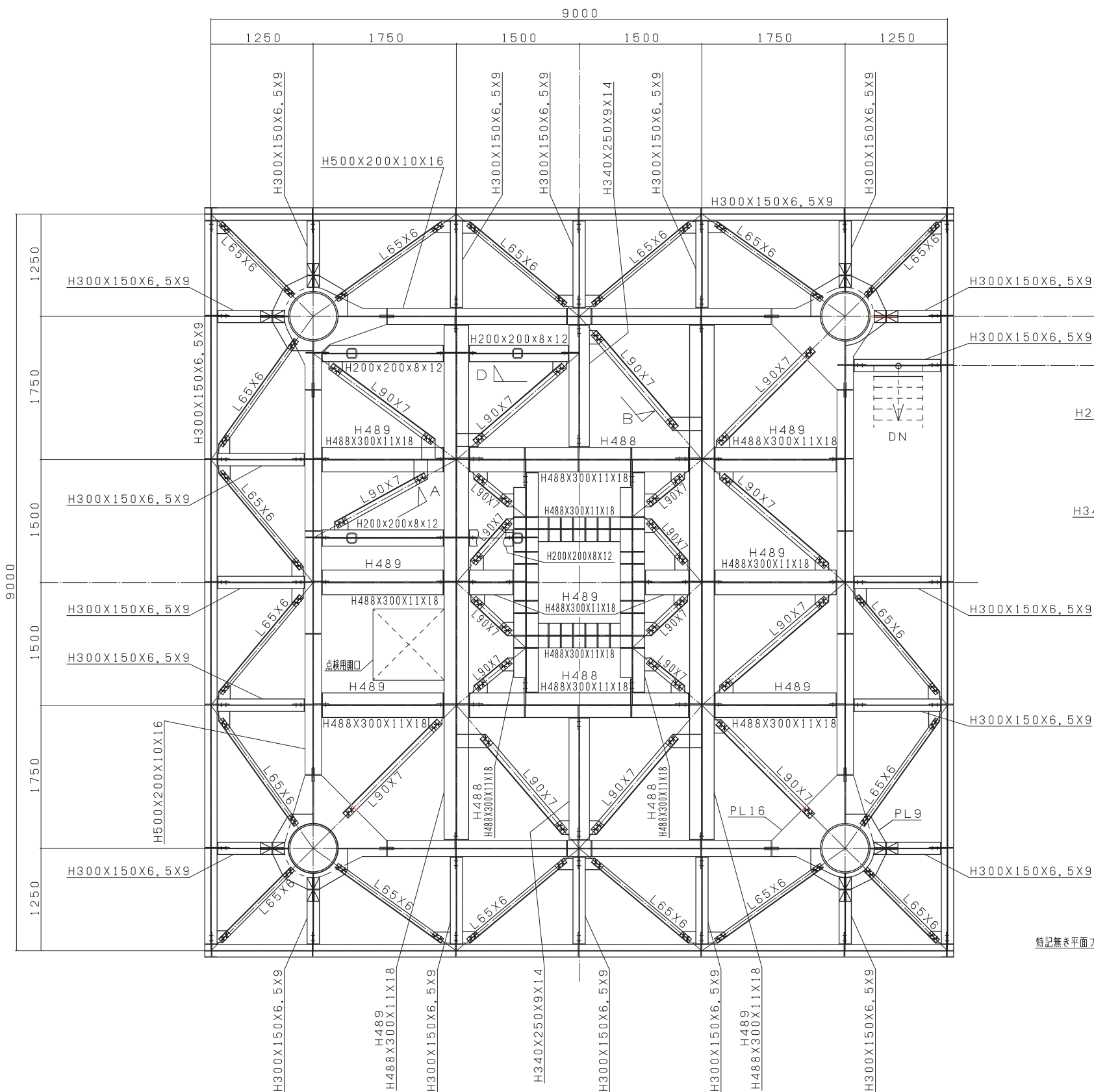


参考図面

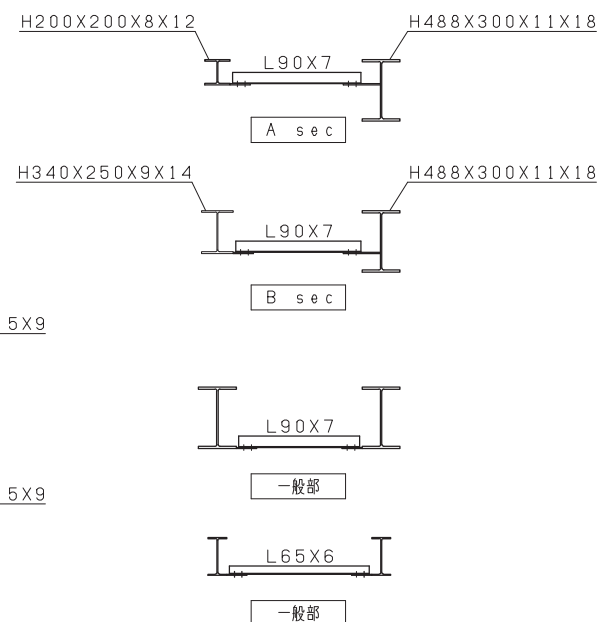
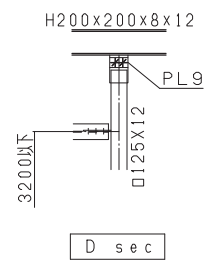
国土交通省 東京航空局 空港部 建築課					
名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事				
	伏詳細 (Z7平面)				
令和5年3月	単位	mm	尺度	A1:1/30, A3:1/60	図番
調査員	主任調査員 田中 耕平	設計者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥平建人		



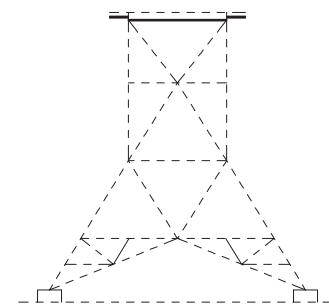
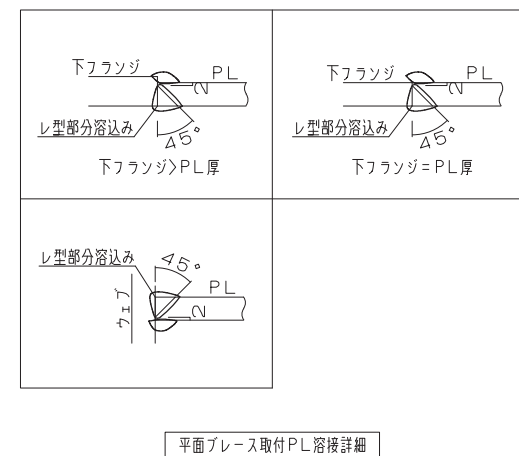
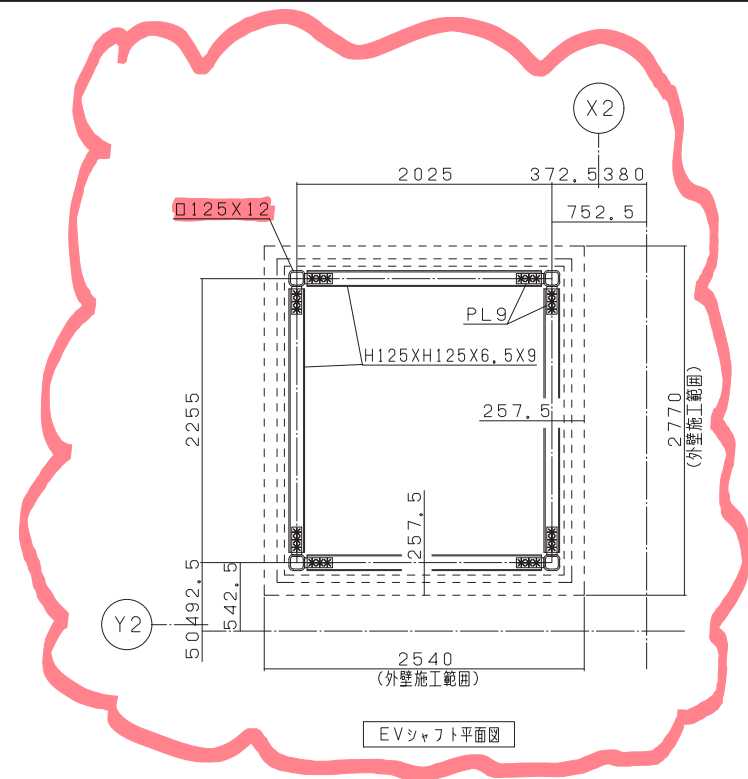
国土交通省 東京航空局 空港部 建築課					
名称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事				
	伏詳細（Z8上面）				
令和5年3月	単位	mm	尺度	A1:1/30,A3:1/60	図番 T-14
調査職員	主任調査員 田中 耕平	設計者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥平達人		



Z8 下面



特記無き平面ブレースのPL厚はPL9とする



国土交通省 東京航空局 空港部 建築課						
名 称	成田国際空港第2TSR/TX局舎新築工事					
	伏詳細（Z8下面）					
令和5年3月		単位	mm	尺度	A1:1/30,A3:1/60	図番
調 査 職 員	主任調査員 田中 耕平		設 計 者	株式会社 松田平田設計 東京都港区元赤坂1-5-17 一級建築士事務所 東京都知事登録第126号 一級建築士大臣登録 第379908号 管理技術者 奥平健人		
	T-15					